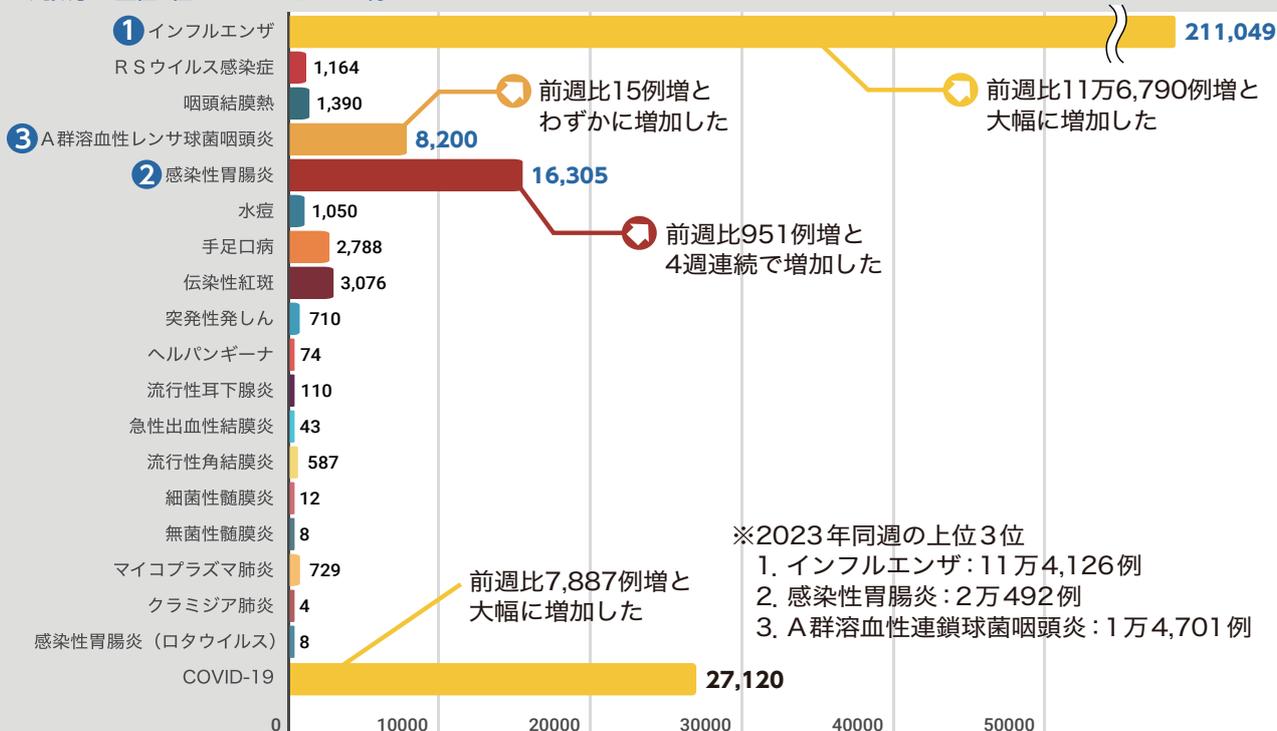




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル全都道府県で増加、21万例突破

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2023年同週の上位3位
 1. インフルエンザ: 11万4,126例
 2. 感染性胃腸炎: 2万492例
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1万4,701例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

- 神奈川県: 1万7,918例
- 東京都: 1万6,727例
- 大阪府: 1万3,953例

定点当たりの報告数(42.66)

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 82.64 | 4. 千葉県: 60.03 | 7. 山梨県: 55.63 | 10. 宮崎県: 50.64 |
| 2. 鹿児島県: 65.57 | 5. 福岡県: 59.86 | 8. 愛媛県: 52.68 | 11. 山口県: 50.03 |
| 3. 佐賀県: 61.62 | 6. 愛知県: 56.79 | 9. 埼玉県: 51.06 | 12. 熊本県: 49.10 |

※その他、24都道府県が警報基準値(30.00)超え

②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 1,783例
- 神奈川県: 1,300例
- 愛知県: 1,019例

定点当たりの報告数(5.19)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 12.72 | 4. 福井県: 9.60 | 7. 東京都: 6.75 | 10. 秋田県: 6.21 |
| 2. 石川県: 10.86 | 5. 宮崎県: 7.44 | 8. 鳥取県: 6.68 | 11. 群馬県: 6.13 |
| 3. 富山県: 9.82 | 6. 熊本県: 7.00 | 9. 兵庫県: 6.63 | 12. 山口県: 6.12 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 東京都: 827例
- 北海道: 693例
- 千葉県: 471例

定点当たりの報告数(2.61)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 宮崎県: 5.39 | 4. 新潟県: 4.84 | 7. 大分県: 3.89 | 10. 富山県: 3.61 |
| 2. 茨城県: 5.31 | 5. 山口県: 4.16 | 8. 千葉県: 3.74 | 11. 福岡県: 3.58 |
| 3. 北海道: 5.06 | 6. 長崎県: 3.95 | 9. 熊本県: 3.65 | 12. 山形県: 3.39 |

今週の感染症動向

インフルエンザは前週から劇的に増加し、21万例を超えた。全ての都道府県で増加しており、定点当たり報告数は36都道府県で警報レベル(30.00)を超えている。直近5週間(第47~51週)におけるインフルエンザウイルスの検出状況は、AH1pdm09が207件(94%)、AH3亜型が10件(5%)、B型が3件(1%)であった。感染性胃腸炎は前週から951例増加し、4週連続で増加した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎はわずかに増加している。COVID-19は7,887例増と大幅に増加した。伝染性紅斑は125例増加し、定点当たり報告数は埼玉県、東京都、青森県、栃木県、千葉県で警報レベル(2.00)を超えている。マイコプラズマ肺炎は140例減少した。インフルエンザが猛威を振るう中、COVID-19など他の感染症も増加しており、さらなる流行拡大が懸念される。